



# 時計台

小林市立永久津小学校 校長通信

令和7年6月2日 第64号 (文責 校長 吉井秀一)

: (0984) 23-3515 E-mail:nagakutukko@miyazaki-c.ed.jp

## なぜ勉強が大事なの？

5月18日の運動会。雨のため順延としましたが、グラウンド整備等にもご協力いただいたおかげで無事に実施することができました。たくさんの方が朝の準備に駆けつけてくださる様子を見ながら、永久津の子どもたちは本当に幸せだな…と改めて感じました。

最後まで歯を食いしばってゴールする姿や、楽しそうにダンスする笑顔にたくさんの声援をいただき、短い期間に指導した先生方の苦労や子どもたちの頑張りもすっかり報われた気がしました。また、リードしてくれる中学生を見ながら、小学生にとって、とても頼もしく、素晴らしいモデルだなと感じました。このような経験を積み重ねながら永久津の伝統が築かれていることを実感しました。

昨年本校が百五十周年を迎えたように、日本の教育は、今の形になってからも長い歴史をもっています。一方、時々テレビなどでも取り上げられるように世界の子どもたちの中には、紛争、貧困、労働、男女格差などの理由で、今も学校に通えていない子どもたちがいます。特にアフリカの西部や中部の多くの国では国民の約半数が読み書きができない現状にあるといえます。しかし、このような現状を知っても「恵まれている私たちはしっかり勉強しなきゃ。」という意欲につながるかといえ、現状は少し難しいようです。戦後も80年が経過し、学業こそが豊かな暮らしにつながる人多くの人たちが考えていた時代も移り変わりました。

「それに答えるのは学校の役目やろ。」との声も聞こえてきそうですが、残念ながら今の学校はこの点の影響は昔ほどではありません。情報があふれ、多様な生き方や学びの姿が生まれ、学校以外にも学ぶ場所や機会が整備されるようになってきました。では、学ぶことの意味って何なのでしょう。この答えは、大人になった私たちが自身が一番実感しているはず。大人になった今、小学校や中学校で学んだことがどう生きているのか、生活の視点で考えてみましょう。私たちは、何度も自分の名前や住所を書く機会があります。テレビや雑誌、新聞、看板や標識…身の回りにあふれる文字を読んで理解しています。そして多くの人が運転免許試験に合格し、自家用車を運転して自由に移動します。

スーパーに行つて必要なものを買つてお金を払います。病院に行つて問診票を読んで記入します…ごく当たり前のようですが、読み書きだけを取り上げても学びは生きる基礎を支えているといえます。さらに知識や経験を積むと、進路の選択肢が増えます。学びが、将来の可能性を広げることが今も昔も変わらないと言えるでしょう。日本の教育の欠点は、学びを努力や苦勞を伴うものだと思わせてきたことです。学びは本来、おいしい食事のように自ら欲しくなるものです。宝探しのようにワクワクするものです。アフリカの子どもたちは、その喜びを大人のせいで奪われているのです。わたしたち大人の役目は「未来のあなたの幸せのためだよ。」と学びの楽しさと大切さを伝え、新しい知識や得意になったことを一緒に喜ぶことだと考えています。

市営プールを使います 先日文書でお知らせしたように、今年から水泳指導は十三塚の運動公園にある市営プールで行います。プールがある日は、利用時間やバス移動の関係で、日程が少しずれますのでご確認ください。(6月3・5・12・19・24日予定)

# 「学校近況スナップ」



運動会の際にご覧になったかと思いますが、運動会前の美化活動の日に創立150周年記念碑のお披露目をしました。後方には記念樹の桜もあります。



運動会の予定日だった17日は、あちこちに水たまりができて大変心配しましたが、当日の朝は雨が弱まり、駆けつけてくださった皆さんのおかげで、きれいに整備されました。保体部やご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。